

バーバ・ムクターナンダの生きている遺産

イーシュワリ・クロスによる解説

素晴らしい記念日がやってきました。バーバ・ムクターナンダの 108 回目の誕生日です。この日、私たちは、バーバが彼の生徒たち、そして世界中に授けた神聖な恩恵、愛、英知をたたえます。

インドの教典の伝統では、108 という数字は非常に重要な象徴的意味があります。それは満月のような完全性、完全な豊かさの体験を表しています。これらの連想は“シッダ”という言葉の意味、“完成した”“完全な”“成し遂げられた”によく似ています。

伝統的なジャパ・マーラー、ヨーギがマントラの復唱を実践するときに使う数珠は、108 個の玉でできています。マントラ・ジャパを実践するとき、私たちは一つの玉ごとにバーバとグルマーイが私たちに与えたマントラ、オーム・ナマー・シヴァーヤを繰り返します。オーム・ナマー・シヴァーヤとは、「私はシヴァ神、すなわちすべてのものの大いなる自己に敬意をささげます」という意味です。この記念日にジャパ・マーラーの 108 個の玉を指で繰るとき、あなたはバーバの誕生からの年月を旅しているように感じるかもしれません。

バーバは私たちにマントラが内包する意味を教えました。それは、彼が自身のグルであるバガヴァーン・ニッテャーナンダから学んだインドの最も深遠な教典と精神的伝統の神髄です。バーバは繰り返し言いました。「あなたの大いなる自己を敬いなさい、あなたの大いなる自己を崇拝しなさい、あなたの大いなる自己について瞑想しなさい、あなたの大いなる自己を理解しなさい。神はあなたの中に、あなたとして住んでいる」。さらに、「互いの中に神を見なさい」。個人の自己と至高なる大いなる自己は一つであると私たちに思い出させることを、バーバは決してやめることはなく、その同一の境地に私たちが到達するように仕向けました。

バーバは、何千人もの探究者に、彼自身のサーダナーと悟りの体験を非常によく描写しているカシミール・シャイヴィズムの偉大な教典の伝統について教えました。カシミール・シャイヴィズム

の偉大な教典の一つ、『プラッツチャービジニャー・ヒリダヤム』は、至高なる大いなる意識がどのように彼女の自由意思で自らを収縮させ、宇宙のあらゆるものと一人一人の人間になったかについて詳しく述べています。そして、グルの恩恵と私たち自身のサーダナーにおける努力を通して、私たちがどのようにその至高なる境地を取り戻し、神聖なる大いなる意識を私たち自身の真の大いなる自己として認識するかを示しています。

1970年代まで、この偉大な神秘の伝統はほとんど忘れられていました。非常にありがたいことに、バーバの教えや著書、そして世界中で彼が行った講話によって、カシミール・シャイヴィズムは現在広く学ばれています。

マハーサマーディを迎える数週間前、バーバはグルマーイと共にカシミールに旅をしました。『シヴァ・スートラ』がマハーデーヴァ山の岩の上に刻まれて現れたと言われているまさにその場所に、バーバは敬意を示したかったのです。バーバ、グルマーイ、そして同行したシッダ・ヨーギたちは、その同じ古代の広い岩板の上に座って『プラッツチャービジニャー・ヒリダヤム』の20のストトラと他のシャイヴァイトの教典を朗唱しました。

ムクタボーダ・インドロジカル学術調査研究所は、グルマーイが主導する機関で、これはインドの古代の教典を保護するというバーバの努力を受け継ぐものです。ムクタボーダ研究所は、ばらばらになった重要な写本を保全するだけでなく、主要な教典をほとんどの西洋言語に翻訳することも援助しています。それは、カシミール・シャイヴィズムのいくつかの本の冒頭に記されているバーバの祝福が、偉大な成果を实らせているように思えます。カシミール・シャイヴィズムは現在、世界中の探究者に精神修行の知識を与えています。

しかしながら、バーバ・ムクターナンダの教えは、単一の哲学や神秘主義の伝統に限定されていたのではありません。バーバは教典についての幅広い知識を持ち、それにはカシミール・シャイヴィズムに加えて、ウパニシャッドやパタンジャリの『ヨーガ・スートラ』、そしてヴェーダーンタの哲学を総合する教えも含まれました。バーバはまた、頻繁に多くの詩聖を引用しました。人の心に触れる詩や歌です。バーバは、大いなる真理の知識を継続的にあらゆる方法で伝え

ました。その大いなる真理は、彼の一つ一つの言葉やしぐさ、まなざし、そして沈黙から発せられていました。

バーバは、シッダ・ヨーガの修行の体系を 1967 年に作り、アーシュラムの日課として知られるようになりました。それは、探究者が内側の大きい自己の認識を体験し、それに確立するための方法として、アーシュラムやリトリートで今日まで継承されています。

バーバが何年にもわたって強調してきた修行の一つは、スワーデーヤ、神聖な教典の朗唱です。1960 年代の初めに、バーバは「シュリー・バガヴァッド・ギーター」と「シュリー・ヴィシュヌ・サハスラナム」の朗唱をグルデーヴ・シッダ・ピートゥで始めました。その後、彼はさらに、「シュリー・グル・ギーター」、「シヴァ・マヒムナ・ストートラ」、そして「シュリー・ルドラム」の朗唱を取り入れました。スワーデーヤに加えて、バーバはさらに、ナーマサンキールタナやバジャンといった別の形の献身のチャンティングもシッダ・ヨーギたちに紹介しました。

チャンティングの修行は、シッダ・ヨーガの生徒のサーダナーの基盤であり続けています。この 34 年間、グルマーイはシッダ・ヨーガの音楽の発展に多大な配慮を向け、教典の朗唱の方法を精錬させ、新しい優れた曲を作りました。バーバとグルマーイはこれらのスワーデーヤとチャンティングの修行法にサンカルパを吹き込み、精神的な成長のための力強い手段としました。

シッダ・ヨーガのサーダナーにおける中心的な修行のほとんどが、『シュリー・バガヴァッド・ギーター』の第 1 章でクリシュナ神が語るヨーガの形を反映しています。セーヴァー、つまりシッダ・ヨーガのグルにささげる無私の奉仕は、カルマ・ヨーガ、正しい行為のヨーガの形です。より緻密な識別力と、執着の無さを培う手助けとなる学びと熟考は、ニヤーナ・ヨーガ、知識のヨーガです。瞑想のヨーガ、デーナ・ヨーガは、シッダ・ヨーガのサーダナーのもう一つの不可欠な柱です。そして、グルへの献身、愛、感謝——すべての修行に意味を与える推進力——は、バクティ・ヨーガの表現です。

『シュリー・バガヴァッド・ギーター』で明言しているこれらのヨーガに加えて、バーバはさらにハタ・ヨーガの修行を様々なコースを通して生徒たちにもたらしめました。彼自身が熟達したハタ・ヨーギでした。そして彼は、マントラの復唱、すなわちジャパというもう一つの力強いヨーガの修行法を教え、そして、精神的自伝である『プレイ・オブ・コンシャスネス』の中でバーバが描写したような瞑想の境地における霊妙な没頭であるラヤ・ヨーガを教えました。

バーバの道が、多くの異なるヨーガの修行の伝統を統合させたことは、自然なことでした。著書『クンダリニー 生命の秘密』で、バーバは言っています。「クンダリニーは、すべての異なるヨーガの形を内包している」。バーバがシッダ・ヨーガの道と呼んだものは、シッダ・ヨーガのグルの恩恵から、クンダリニー・シャクティのひらめきから現れているのです。

『シヴァ・スートラ』を注釈する中で、賢人クシェーマラージャは、グルとは至高なる女神の恩恵を与える力である、と言っています。この恩恵がシッダ・ヨーガの道を支えるものであり、バーバの最も重要な遺産、つまり、シャクティパートの伝授です。

シャクティパート、クンダリニー・シャクティの目覚めを伝授できるグルを見つけることは、極めてまれなことです。この目覚めを達成するために、長期間途方もない苦行をするヨーギたちがいます。バーバ自身、彼に伝授を与えたグル、バガヴァーン・ニッテャーナダを見つけるまで、何十年もインド中を歩き回りました。バーバは、シャクティパートがいかに特別で貴重なものかを知りました。彼のグルの命に従い、バーバはシャクティパートを惜しみなく、たくさんの人に与えました。私たちは皆、彼の寛容な行為の受益者です。

今日、グルマーイ・チッドヴィラーサーナダは、シャクティパートを授け、世界中の数え切れないシッダ・ヨーギと新しい探究者のサーダナーを導き続けています。

2016年のグルマーイのメッセージは:

至高なる喜びに
定着するように

揺るぎない心をもって
動きなさい

バーバの人生と遺産は、グルマーイが彼女のメッセージの中で教えていることの素晴らしい見本です。つまり、最高のゴール——私たちの本質であり生まれ持った権利である大いなる自己の至福——への揺るぎない集中を持つことです。この一年を通して、グルマーイは、彼女のメッセージとバーバが愛したカシミール・シャイヴィズムの教えを学ぶ多くの方法を私たちに与えています。例えば、『プラッタービジニャー・ヒリダヤム』の解説を勉強したり、2016年の瞑想講座「至福の源、マディヤへの道」に参加することもできます。

バーバの遺産は過去のものではありません。それは、シッダ・ヨーガの哲学と文化のそれぞれの要素の中で生きています。それはまた、シャクティパートを受け取った私たち一人一人の中で生きており、私たちの人生のすべての瞬間をシッダ・ヨーガの伝統の恩恵で満たしています。私たちは、シッダ・ヨーガのグルたちに——バデ・バーバ、バーバ、そしてグルマーイに、感謝をささげます。